



三潑保育園 園だより

November 2020



金木犀はある日突然、繊細な香りを放って秋を知らせてくれます。今年の運動会はその金木犀香る秋晴れの季節に行いました。子ども達の真剣な横顔に私達大人たちは勇気づけられますが、それぞれの表情は家族の声援が後押しとなって引き出されたものに違いありません。

例年であれば6月に開催されるものの、今年は時期をずらした開催となりました。6月の開催だったらどうだっただろう？と考えることもありますが、子ども達は4月からコロナを乗り越えながらたくましく成長していることを実感します。引っ込み思案だった子が自分の気持ちを言葉で伝えるようになったり、自分の意見が通らなくても友達と話し合いで決められるようになった子がいたり、いつもより粘ってみようになった子がいたり。1年前は歩くのがやっとの子がお話し上手になったり。

運動会当日もそんな子ども達の成長の片りんを見せてくれたように思います。転んでも最後まで走り抜いてゴールの後にようやく見せた涙や、友達を心から応援する姿、家族の姿が見えてもぐずったりせずに見せた笑顔等に、見ている大人が熱いものがこみあげてくる時間でしたね。

そんな姿を見ると、まるで子ども達が一気に成長したような気がしてハッとさせられるかもしれません。金木犀の香りも突然いい香りを放ちますが、その花が咲くには一年の間にじっくりと成長を遂げているからだと思うと、子ども達と重なります。子ども達も同じように、日々の中で少しずつ成長しながら多くのことを自分のものにして大きくなっていくんですね。きっと家族と離れている保育園の時間は、毎日が平たんでもなく、全てがうまくいくわけではない日々です。そんな中で子どもたち同士がたくましく成長した姿が運動会では切り取られ、見ることが出来たような気がします。



運動会の翌週はアウトドアウィーク！あどけない子ども達の姿には、いつも通りのリラックスした雰囲気、思い思いに秋を感じていました。

これから肌寒くなる季節です。体調に気を付けながらメリハリをつけた生活で子ども達の健康を守りながら冬を迎えたいですね！

國友 裕子



クラス目標 ～1か月大切にしたいこと～

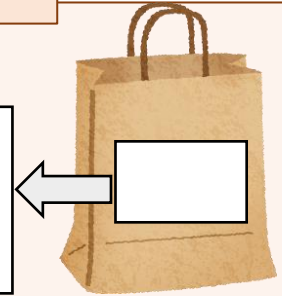
- たんぽぽ組** 戸外の空気にふれたり、カラダを十分に動かしたりして健康に過ごす。一人一人の月齢や興味に合った遊びを楽しむ。
- もも組** 身近な自然の変化に興味関心を持ち探索活動を楽しむ。音楽やリズムに合わせて体を動かし存分に遊ぶ。
- ばら組** 手洗い・うがいの習慣を身につけて感染症を予防する。自分の気持ちを言葉で伝えながらルールを守り友達と楽しく遊ぶ。
- うめ組** お遊戯会の練習に楽しみながら参加する。身近な秋の自然に触れたり戸外で体を動かして遊ぶ。友達との関わりの中で相手の気持ちに気付いたり、自分の気持ちを伝えようとしていく。
- すみれ組** 自然に触れたり自然物で遊んだりし、季節の変化を感じる。使うものを自分で管理し、物を大切にすることを学ぶ。
- ゆり組** 友達と共通の目的に向かって考えを伝えあいながら遊びや生活を進める楽しさを味わう。体を動かす遊びを通してルールを考えたり、挑戦したりする楽しさを味わう。

お遊戯会の衣装のご提出について

12月2日（水）は衣装の提出の締め切りです。下記を参考に必要事項を記入の上ご提出ください。

一つの紙袋に一式まとめて入れる。

〇〇組	なまえ
No.〇	演目名
・	はいているもの
・	
・	



11月の園行事

- 5日（木） YYレッスン
- 10日（火） お弁当の日
- 11日（水） YYレッスン
- 12日（木） 消火避難訓練
- 13日（金） 親子遠足
- 20日（金） YYレッスン
- 24日（火） 身体測定
- 25日（水） お誕生会



保育士の目線

【お母さんとして、おばあちゃんとして】

たんぼぼ組 古賀郁子

今回は、たんぼぼ組の古賀先生のインタビューをお送りします。

__古賀先生が思う“古賀先生の持ち味”とは？

私は内面が子どもなんです。子ども達と一緒に騒いだりして楽しむのが大好きなんです。だから、行事なんか好きです。本番に向けてワイワイ準備をしたりしながら、心がウキウキワクワクするのが嬉しいですね。

今年初めて運動会の“ありがとう行進”を見ました。思わず涙が出そうになりましたよ。練習の時には見られない、本番時の子ども達の力の発揮には涙腺が緩みますね。本番という意識が子ども達の表情も変えるんでしょうね。

__ご本人は4人のお子さんを育てて、現在は息子さん夫婦と同居されるおばあちゃん。自身の子育て時代やおばあちゃん目線等について。

母親として子育てしているときは厳しかったかもしれません。よく怒っていました。今振り返ると、仕事や母親業、そして義理の両親との生活など多忙な中でいっぱいあったのかもかもしれません。1人目と4人目には子育てにも違いが出てきましたよ。それこそ一番上の子は下の子をかわいそうに!と思っていたこともあったようです。4人目ともなると、授業参観にも“今日、お母さんいけなからね!”ということもありましたから。だけど、そんな子もきちんと立派な大人になりました。(笑)

母親として気に掛けていたことは、とにかく生活のリズムです。大人の生活につられて子どもが不規則な生活にならないことを大切にしていました。だから、20時にいったん寝かしつけをして、そのあと家事をこなすこともありました。やはり、自分の子ども達を見ている、いかに睡眠が大切かというのは感じていました。ですから、子どもには規則正しい生活リズムを守ってあげられるように母親の私が時間を工夫していました。本当に大変ですよ、母親というものは。

__お孫さんを持つおばあちゃんという立場は、保育に影響を与えますか？

そうですね。わが息子夫婦が孫に接している様子を見てると勉強になりますよ。“ああ、こんな風に接すると子どもが嫌がるな”とか“これは子どもが笑顔になるんだ”とかね。そういう事を、日常の保育園での業務の参考に自然にしている所はあってもいいかもしれません。

そして、やはりおばあちゃんという立場は心にも余裕が出来るので孫を俯瞰して見られています。だから、余裕がある分だけ子どもが挑戦する姿を見守りたいな!とか。いつでも厳しく正しくという時ばかりではなく、たまには甘えられる存在も成長には必要だろうな!とか。そういうことは感じます。心に誓う事は、とにかく危ない目には合わせないように!という事だけです。ね。

もし、また母親をするとしたら“あるべき”論からはみ出しても、子どもがやってみたくて目を輝かせている方向に付き合ってあげたりすることを大切にしてみたいとも考えます。

育った4人も同じ家庭で育っているのに、個性がそれぞれありますからね。興味もそれぞれ違いましたから。

__そんな中で、たんぼぼの15人を見ているわけですね。

そうですね。15人それぞれ!なんでも興味津々でどこまでも行く子や、ちょっとしたことで不安になって愛着のある大人に助けを求めると、負けん気が強い子、ケンカしがちだけどふとした瞬間に面倒見のいい子。0歳児クラスで既にこの豊かな個性ですよ。ちょっとした時間での成長に驚きもあります。“今”というこの瞬間も少しずつの成長が楽しみですし、大きく成長した“未来”も楽しみです。

特に個人差の多い未満児。育児書通りにはいかないからこそ、自分の経験と照らし合わせながら、15人と接しています。昨日より、先週よりどう成長しているか楽しみながら見守っています。

そして大切にしていることは丁寧な接する事です。ついつい、忙しくなるとなまなまになってしまいがちです。大人も嫌がる事は子どもももちろん嫌がるだろうと思って子ども達が快適に感じてもらうために丁寧に向き合う事を心がけています。例えば泣いている理由もそれぞれ。この子はなぜ泣いている?と理由を探ります。

そして、お母さんたちの支えになれたらいいなとも思います。子どもにとって家族の存在は本当にかげがえのないもの。子本人の努力も大切だけど、家族の精神的な寄り添いが何より子ども達の支えだと思えます。母親というのは大変だと分かるからこそ、私はそのサポートが出来て、家族が子どもに寄り添う余裕が出来たらと思います。

__インタビューの最後に

保育士としてはまだまだです。勉強ですね!

◆水野先生に聞いてみました。“古賀先生ってどんな存在?”

たんぼぼ組の“安定感”、ですかね。

経験豊富な人生からにじみ出るどーんと構えた雰囲気はたんぼぼ組の力になっています。4人の子を育て上げた母としての経験、障害児施設での勤務経験、他の保育園での経験など多くのことが今の古賀先生の雰囲気を作り上げていると思うんですが、自分だけのパフォーマンスだけではなく、広い視野での連携プレーなども、相手の行動を見ながら思いやりをもって接してくれます。

それこそ、たんぼぼ組のスタッフは自身も母親という者もいます。古賀先生が“大丈夫!大丈夫!”と声を掛ける姿が、教科書通りに進まない育児の応援にもなっているのではないかと感じます。

そして、私たちは普段から情報を共有する事を大切にしています。だからこそ、報連相を大切にくださる古賀先生の姿はありがたいですね。“この子はこういうことがあったよ”“この子はこういうことを気を付けたほうがいいね”などをクラスメンバー全員で共有し把握しているからこそ、子どもの個性を大切に受け入れながらお預かりが出来るのだと思います。

また、クラスの中で大切にしたい共通認識なども丁寧に伝えたりしてくれます。チームメンバー1人1人に対しての思いやりがきちんと伝わってくる。人として信頼できる存在です。

